

作成日 2022年10月1日

改定日

山本窯業化工株式会社

施工仕様書 「ハイシーカラーSi」

用途	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	シート状砂岩、サイディングボード(窯業系)、コテ塗り仕上(樹脂系・石材調・セメント系)等、 下地の模様を活かす塗替え専用。
施工不可部位	天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラペットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量(粘度)・塗付量(厚み)・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整				
2	下塗り (ローラー塗 装)	セラプライマーカラーHi 16kg 清水 0.8~1.2kg	0.2~0.3	・ウールローラー ・塗料用刷毛	1~2 3時間以上
3	主材塗り (下塗り)	ハイシーカラーSi 20kg 清水 1.0~2.0kg	0.6~0.9	・砂骨ローラー(細目)	1 3時間以上
4	主材塗り (上塗り)	ハイシーカラーSi 20kg 清水 1.0~2.0kg	0.6~0.9		1 24時間以上 (最終養生)

※ 注意事項

- ・ 下塗材は下地を隠蔽するようにムラなく塗装してください。
- ・ 均一にローラーに含ませて、隠蔽するようにムラなく塗装してください。
- ・ ローラーで塗布しにくい又は塗装できない部位は、塗料用刷毛で塗りこんでください。
- ・ 中央面の塗装はタテくばり塗りし、次にタテ、ヨコとローラーを転がしてローラーマークが生じないよう、また、厚塗りにならないようにならし塗りしてください。尚、下塗はやや軟らかめの材料で、目をあまり立てずに平滑に塗装してください。下地に材料がムラなく素地との付着性とパターン形成の基礎となりますので、素地とのパターンを揃えることが大切です。
- ・ 上塗りは材料粘度をやや固めにし、砂骨ローラー(細目)で下地のパターンを活かし、きれいに見える様に塗布してください。
- ・ 塗装方法は下塗りと同じですが、仕上工程となるので、ならし塗りを特に丁寧にを行い、塗りムラを防止してください。
- ・ 下塗りのパターンと揃うように塗布することが綺麗に仕上がるポイントです。
- ・ 既存塗膜のパターン(テクスチャー)により、所要量は変化しますのでご注意ください。

施工のポイント

- ・ まずコーナー部(入隅)を塗布してください。この時、塗布量が多いとひび割れが起こりますので注意してください。
- ・ 平面塗布は、まずローラー全体に均一につけ、壁面に材料を配るような感じで塗布してください。
- ・ この時、ローラーに材料をつけすぎると、既塗布面への重なりにより、ローラーマーク等が生じやすくなりますので注意してください。
- ・ 入隅、出隅部は塗料用刷毛で塗りこんでください。
- ・ 配り塗りした材料は、ローラーを上下左右にならし塗りをを行い、ローラーマーク、付着ムラをなくしてください。
- ・ 模様が深くローラーで施工できないボード類、テクスチャーもあります。凹凸が深くローラーが入り込まない場合は、事前に塗料用刷毛等で塗りこんでください。

下地別の施工(補足事項)

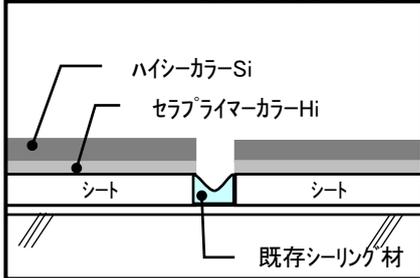
・シート状砂岩の場合

シート状砂岩の目地部には大きく分けて「シーリング材」「セメント系目地材」「防水シート」があります。

また、既存の目地をそのまま活用する場合等、処理方法が異なるため、下記の手順を参考にして処理してください。(下記以外の処理についてはお問い合わせください。)

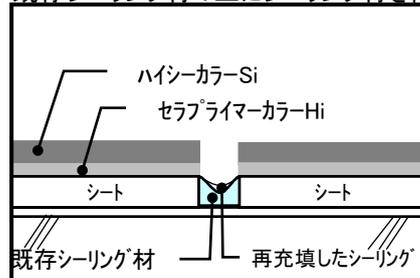
1 シーリングの場合(シーリングの劣化状況等に応じて適切に処理してください。)

A 既存シーリング材をそのまま使用する場合



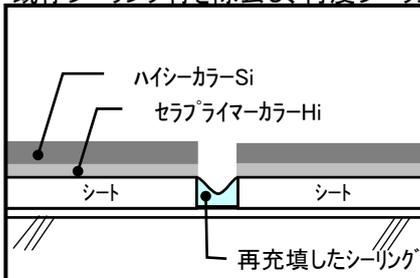
- ①目地部(側面部を含む)を目地棒やマスキングテープ等を使い養生します。
- ②砂岩シート上にセラプライマーカラーHi、ハイシーカラーSiを塗装します。(必要に応じて塗料用刷毛により刷毛目をつける。)
- ③ハイシーカラーSi(上塗り)後、塗膜が乾燥する前に養生を取り除きます。
- ④ハイシーカラーSi乾燥後、目地部のバリ取りを行います。

B 既存シーリング材の上にシーリング材を再充填する場合



- ①目地部(側面部を含む)を目地棒やマスキングテープ等を使い養生します。
- ②砂岩シート上にセラプライマーカラーHi、ハイシーカラーSiを塗装します。(必要に応じて塗料用刷毛により刷毛目をつける。)
- ③ハイシーカラーSi(上塗り)後、塗膜が乾燥する前に養生を取り除きます。
- ④ハイシーカラーSi乾燥後、目地部のバリ取りを行います。
- ⑤目地部に沿って、ハイシーカラーSi上にマスキングテープ等で養生します。
- ⑥シーリングプライマー塗装後、シーリングの再充填をし、養生を除去します。

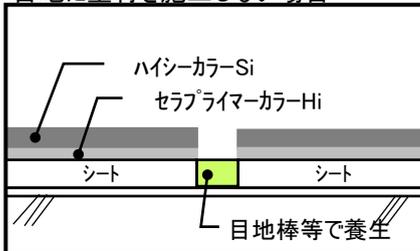
C 既存シーリング材を除去し、再度シーリング材を充填する場合



- ①既存シーリングを除去、清掃します。
- ②目地部(側面部を含む)を目地棒やマスキングテープ等を使い養生します。
- ③砂岩シート上にセラプライマーカラーHi、ハイシーカラーSiを塗装します。(必要に応じて塗料用刷毛により刷毛目をつける。)
- ④ハイシーカラーSi(上塗り)後、塗膜が乾燥する前に養生を取り除きます。
- ⑤ハイシーカラーSi乾燥後、目地部のバリ取りを行います。
- ⑥目地部に沿って、ハイシーカラーSi上にマスキングテープ等で養生します。
- ⑦シーリングプライマー塗装後、シーリングの再充填をし、養生を除去します。

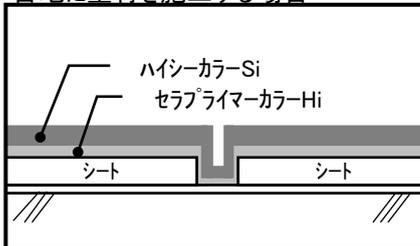
2 ボンド底目地の場合

D 目地に塗材を施工しない場合



- ①目地部(側面部を含む)を目地棒やマスキングテープ等を使い養生します。
- ②砂岩シート上にセラプライマーカラーHi、ハイシーカラーSiを塗装します。(必要に応じて塗料用刷毛により刷毛目をつける。)
- ③ハイシーカラーSi(上塗り)後、塗膜が乾燥する前に養生を取り除きます。
- ④ハイシーカラーSi乾燥後、目地部のバリ取りを行います。

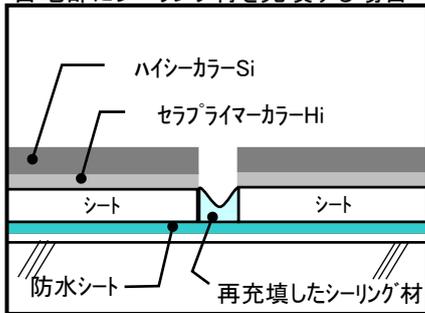
E 目地に塗材を施工する場合



- ①全体にセラプライマーカラーHiを塗装します。目地部は塗料用刷毛等で塗りこみます。この時、目地底にセラプライマーカラーHiがたまらないようにしてください。
 - ②目地部にハイシーカラーSiを塗料用刷毛等で塗りこみます。
 - ③全面にハイシーカラーSiを塗装。凹凸の大きい所は塗料用刷毛等で塗りこみます。
- ※特殊なボンドの場合、付着しない事があるのでお問い合わせください

3 防水シートの場合

F 目地部にシーリング材を充填する場合



- ①目地部(側面部を含む)を目地棒やマスキングテープ等を使い養生します。
- ②砂岩シート上にセラプライマーカラー-Hi、ハイシーカラー-Siを塗装します。(必要に応じて塗料用刷毛により刷毛目をつける。)
- ③ハイシーカラー-Si(上塗り)後、塗膜が乾燥する前に養生を取り除きます。
- ④ハイシーカラー-Si乾燥後、目地部のバリ取りを行います。
- ⑤目地部に沿って、ハイシーカラー-Si上にマスキングテープ等で養生します。
- ⑥シーリングプライマー塗装後、シーリングの再充填をし、養生を除去します。

- ※ シーリング材の上にハイシーカラー-Siを塗装しないでください。(ひび割れが起こる可能性があります。)
- ※ シーリング材の再充填は、ハイシーカラー-Si塗装後、塗膜の乾燥を確認してから行ってください。
- ※ シーリング材再充填時は、既存シーリング材の上に各社が推奨するシーリングプライマーを塗装してください。(既存シーリングの洗浄及び除去は、下地処理時に行ってください。)

4 シートの浮きについて

ボンド不足等による接着不良の場合は、ボンドを注入するかケレン等で部分補修してください。

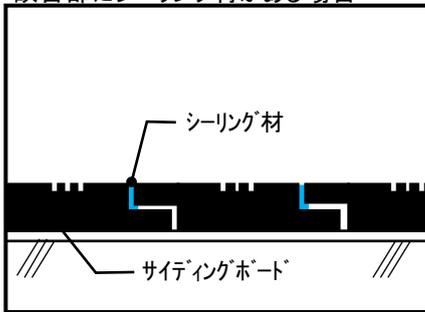
但し、躯体から水が回っている場合は、水の浸入を止めた後、シートを貼り替える必要があります。

- ・ボンドを注入する場合 浮いている箇所には穴を空け、エポキシ樹脂を注入し、圧着して高さをそろえてください。
- ・部分補修の場合 シートの浮いている箇所をケレン等で除去、水洗し24時間以上乾燥後、セラエポキシ浸透シーラー<1液>(旧:セラプライマー-IS)を塗装。その後、樹脂モルタルで高さをそろえてください。浮いた部分のシートを除去後、再度シートを貼り付けてください。
- ・貼り替える場合

・窯業系サイディングボードの場合

サイディングボードの勘合部には、シーリング材がある場合とない場合がありますが、いずれもひび割れを起こす可能性があります。基本的には塗装できません。下記の手順を参考に処理してください。

G 嵌合部にシーリング材がある場合



- ①目地部(シーリング材)の上をマスキングテープ等で養生します。
- ②セラ水性シーラーHi(旧:セラプライマー-NW)を塗装します。
- ③セラプライマーカラーHiを塗装します。(テクスチャーの凹凸は塗料用刷毛等で塗りこんでください。)
- ④ハイシーカラー-Siの塗装
 - ・テクスチャーの凹凸は塗料用刷毛等で塗りこみます。
 - ・塗材を厚く塗りすぎると、ひび割れが発生しますので注意してください。
- ⑤目地部の養生を除去します。
- ⑥ハイシーカラー-Si乾燥後、目地部のバリ取りを行います。
- ⑦目地部に沿って、ハイシーカラー-Si上にマスキングテープ等で養生します。
- ⑧シーリングプライマー塗装後、シーリングの再充填をし、養生を除去します。

H 嵌合部にシーリング材がない場合

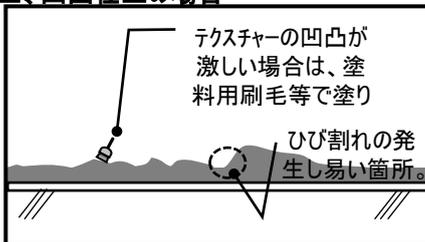


- ①セラ水性シーラーHi(旧:セラプライマー-NW)を塗装します。
- ②セラプライマーカラーHiを塗装します。(テクスチャーの凹凸は塗料用刷毛等で塗りこんでください。)
- ③ハイシーカラー-Siの塗装
 - ・テクスチャーの凹凸は塗料用刷毛等で塗りこみます。
 - ・塗材を厚く塗りすぎると、ひび割れが発生しますので注意してください。
- ※ハイシーカラー-Siの塗装乾燥後、カッターやスクレパー等で勘合部上の縁切りを行います。

※ フッ素及び無機コーティングしたサイディングボードには塗装しないでください。

※ 金属サイディングの上には塗装しないでください。

・コテ塗り仕上、凹凸仕上の場合



セラプライマーカラーHi、ハイシーカラー-Si施工の際、凹凸が深く指定の器具で塗りこめない場合は、塗料用刷毛等を使い、塗りこんでください。

凸の激しい場合は、凸部分をサンダー等でヘッドカットしてください。入隅の凹み部分等に一度に(2mm)厚く塗るとひび割れが発生する恐れがあります。

段差のある場合、塗料用刷毛で塗材を配り塗りしておいて、その後すぐにローラーで塗ると綺麗に仕上がります。